



宇土市立走潟小学校 学校だより

走り走愛

(そうしそうあい)

「生命」
「笑顔」
「自立」

令和7年度 No.21
令和7年9月18日
【文責】小林信一

環境学習 緑川・浜戸川について学ぶ

16日(火)、国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所より内田専門官に来校いただき、「緑川的环境について」という題で本校5・6年生を対象に授業を行っていただきました。

走潟地区は四方を川に囲まれており、緑川や浜戸川について知ることはとても大切なことです。私も打ち合わせから授業まで同席させていただきましたが、走潟地区を取り巻く自然環境(特に河川)について学ぶことはとても有意義だと感じました。

授業の方はというと、1時間目は5・6年生合同での講義。2～4時間目を使って6年生が次郎兵衛橋近くの潟に入って生物観察を行いました。豊かな自然環境を守っていくために自分たちに何ができるのか、改めて考えた時間となったようです。



内田専門官からの講義



次郎兵衛橋近くの潟で生物観察

【校長室から】⑥体育館での出来事

先週、あまりにも暑くて外遊びができない日に、体育館を開放して私が見守りをしていた時のことです。低学年の女の子が泣いているのを心配して私に報告に来てくれた子がいました。私が事情を聴きに行こうとしたところ、通りかかった6年生の女の子が泣いている子に近寄り話しかけてくれました。しばらく話を聴くと、別の女の子を呼んで二人を話し合わせてトラブルを解決してくれたのです。後日、その6年生の女の子にお礼を言って、そのときのことを尋ねると「慣れていますから」と何でもなかったかのように答えてくれました。その姿に感服しました。

4月から上級生、特に6年生が下級生のお世話をする姿をたくさん見てきましたが、本当にすばらしいです。きっとあなたたちのその姿は後輩達にも良き伝統として受け継がれていくのでしょうね。

学校田観察日記

田植えをして早3ヶ月。たくさんの人の関わりのおかげで生育は順調です。収穫が楽しみです。



植えた直後の田んぼ (6月27日撮影)



最近の田んぼ (9月9日撮影)